

KOCHI ROTARY CLUB

2021
2022

SINCE 1937



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために
2021-22年度 RIテーマ

週報



Weekly report 第3489回 2022年2月8日 2022年2月15日発行

● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。今日も嬉しいことに先週に続いて新しい仲間をお迎えます。後ほどご紹介をお願いします。



先週入会された津野さん、森田さん、そして日和崎さんと例会前に少しお話しましたが、3人とも背も高いし足は長いし、私はずっと顎が上がりっぱなしで、白雪姫に出てくる小人のおじいさんになった気がしました。そのとき、ふと思い出したのが、去年、例会が終わって三翠園のロビーを歩いていたとき、目の前を荒井奈々絵さん、森恒一郎さん、森田啓介さんが歩いていました。3人とも上背があって、ちびっこの私は前が全然見え「3人とも背が高くて格好いいね」と声を掛けたのですが、その声は3人の背中に跳ね返って、エコーのように僕に返ってきて、誰にも気づいてもらえなかったという、くだらないことを思い出しました。

同世代や先輩方といると、お互いだんだん背も縮んできて

あまり大きさを感ぜませんが、若い世代の方々を見ると、日本人の体格、スポーツでいうところのフィジカル面が強くなっていると感じます。サッカーやラグビーなど、世界の強豪と伍して戦えるようになったのも、その証ではないかと思えます。

サッカーのJリーグが創設30周年を迎えると聞きました。昔は、地方の小学生、中学生のスポーツは野球が中心でしたが、最近はサッカー人口が増えて、野球より少し上回っている状況だそうです。私達の仲間である宮地貴嗣会員の不屈の取り組みで、高知ユナイテッドもJFLで活躍するまでに力が付いてきています。

先週、北京で冬季オリンピックが開幕しました。苦戦している場面もありますが、ジャンプの小林陵侖選手が金メダルを取りました。スポーツはやっぱりいいなと。感動し、勇気づけられたり、元気づけられることがたくさんあります。後ほどの高知ユナイテッドのGM、西村昭宏さんのお話を楽しみにしたいと思います。本日も Let's enjoy our 高知ロータリー



■ 本日のプログラム [2月15日]

ロータリー創立例会
 パスト会長スピーチ 千頭 邦夫 会員
 「例会の、卓話のまくらは、ロータリー、
 奉仕、サービス、お酒にタタキ」

会	長	入	交	章	二
副	会	杉	本	芙	美
幹	事	中	澤	清	一
副	幹	佐	竹	新	市
会	報	亥	角	政	春
責	任				

● **ロータリーソング** 「四つのテスト」

● **今週のピアノ曲** 「樅の木」 ピアノ演奏：宮地公美子会員

● **新入会員紹介**



● **水谷太一氏挨拶**

この度は、伝統と格式ある高知RCに入会させていただき本当にありがとうございます。

入会前に、反対票が1票でもあると入れないからと言われて、ドキドキしていましたが、何とか認めていただきました。私は、父から譲り受けた保険の代理店を運営しています。地域に根づいた保険代理店として高知県内全域を担当していますが、皆さまも何かご用命がありましたらお声掛けください。42歳、まだまだ若輩者です。これから皆さんのもとの一緒に頑張っていけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

● **退会挨拶** ◎千代達洋会員

大好きな高知の生活もあと数日、高知RCの例会出席も今日が最後です。

この4年間、本当に充実した日々を過ごすことができましたのも、皆さまのおかげと感謝申し上げます。3月から大丸松坂屋百貨店本社の人材開発部長に就任いたしますが、皆さまに教えていただいたことをしっかりと生かしてまいりたいと思います。

後任の社長は、高知大丸75年の歴史の中で初めての生え抜きの小島でございます。今後とも引き続き、ご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。4年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



● **理事会報告**

・創立夜間例会は、コロナ感染拡大によりお昼の例会に変更します。元会員の小川さんはじめ名古屋北RCの方々も参加予定です。まん延防止等重点措置でも開催しますが、県の警戒レベルが5になると休会になりますので、よろしくお願いいたします。

・千代会員の退会が承認されました。

● **幹事報告**

・2022年国際ロータリー年次大会、ヒューストン大会の案内が届いています。

・確定申告用の領収書が届いています。詳細はボードをご覧ください。

・ロータリー手帳購入希望者は記入をしてください。締切は2月22日。

・2月のロータリーレートは115円です。



● **ゲストスピーチ**

高知にJリーグを

高知ユナイテッドスポーツクラブ GM **西村 昭宏 氏**

高知に来て8年です。

最初に少し、三浦知良選手のことをお話します。

三浦選手は日本のサッカー界のレジェンドで、現在54歳。静岡で生まれた少年が、サッカーのプロになりたいという16歳でブラジルに行きます。



相当な苦勞をされたと思いますが、以来39年たった今も現役で、今回、我々と同じカテゴリーであるJFLでプレーすることになりました。これは、54歳になってやはりJ1

では出場機会が得られない。だから、下のリーグになっても、カテゴリーが下がってもゲームをしたいという、引退を賭けた、ご本人の最後の決意ではないかと思えます。そういう覚悟を表明されたので、それならば、高知ユナイテッドもオファーをしたいという相談をオーナーの宮地さんにしました。

オーナーの声・・・来てくれたらありがたいな。ワクワクするな。皆が、特に女性がスタジアムに来てくれるだろうと楽しみにしていました。

残念ながら来ませんでした。高知は全国で2番目にオファーを出しましたが、1番は、三重の鈴鹿ポイントゲッターズ。三浦さんの実のお兄さんが、このチームでGM兼



監督をされていることもあって、そちらに所属しました。けれども、今回、三浦選手が同じJFLリーグに来るということで、すごく注目されると思います。

なぜ、僕がオファーをしたかという、まもなく55歳になろうという選手が90分間の試合ができるのかと。もちろん90分間プレーすることは理想ですが、彼は39年間、プロの世界で生きてきたわけです。同じ道で39年間追求する人というのは、相当すごいと思います。そのすごい人を、高知県の人たちに、我々のクラブの選手に、サッカーの仲間、子どもたちに、本物の人を目の前で見られる機会をつくるべきではないか。本物を見るからこそ、子どもたちは憧れを持つのだと考えたからです。

我々も今プロクラブを目指していますが、まだまだ足りないところが多いです。宮地オーナーは全くのゼロから始めて、私財を投げ打って何とか一つ目のハードル、JFLまできました。けれども、この1から2、3に上がるには、やはり一人の力では難しい。たくさんの仲間と協力が必要です。そういうとき、単に、地元のクラブだから応援するという簡単な理由だけでは駄目だと思います。本物を連れてきたり、そのクラブに応援する価値があるかどうかです。

8年前、僕がきたときも「高知県にJクラブがないので応援よろしくをお願いします。少しでもスポンサーをお願いします」と言っていたのですが、時代はどんどん変わって、Jクラブのスポンサーも変わってきています。今は、「もちろん応援はするけど、自分たちに何か影響することはありますか？あなた達のクラブは、スポーツ以外で地域にどんなことを貢献していますか？」そういうことが当たり前のようになっていきました。そういう意味では、我々も高知ユナイテッドスポーツクラブになって、サッカーだけではなく、スポーツで地域を活性化したい。スポーツで地域に貢献したい。そういったことを、JFLからJリーグに向かうにあたって、改めて考えていかなければならない時代に入っていると思います。

今から30年前、10チーム、8都道府県でJクラブができました。それが、2022年のJリーグ編成は58クラブ、40都道府県にあります。地域の方に認められなければ、これだけたくさんのクラブはできていないと思います。J1、J2、

J3に入れるのは60クラブです。現在、J1は18、J2が22、J3が18クラブです。その下が我々の所属するJFLです。今我々は、この60クラブに入ることを目指しています。

Jクラブはプロクラブとして、お金がなくなったから辞めますということではできない仕組みになっています。一人のお金持ちのオーナーがやりたいからと言ってできません。必ず、県と市が応援する。すなわち、県民の方々に理解していただかないといけないし、赤字が3年続くと、J1、J2、J3のライセンスが取り消されます。いつかの思いだけではなくて、ずっと続けていくものだという事です。そのために、100年構想クラブという条件があります。100年構想クラブとは、将来Jリーグへの入会を目指すJFL以下のカテゴリーに所属するサッカークラブに対して、日本プロサッカーリーグが、Jリーグ規約に基づき認定したクラブです。多くの参加要件や条件がありますが、高知ユナイテッドは昨年11月に100年構想クラブを申請して、Jクラブになりたいという意志を表明しました。今月28日、Jリーグの理事会で認めるか認めないかの決定が出ます。

では、Jクラブになると何が変わるのか。一番は、やはり地域に貢献できることです。人が交流します。相手チームや応援団が来ます。我々も相手チームに行きます。例えば、今高知には野球やサッカーのチームがキャンプに来ています。40人近い選手やスタッフが、長いチームだと5週間も春野でキャンプをしています。何千万円という経済効果があり、人材育成の面でも貢献できます。そうすると、地元の方にもサッカーのチームがあったらいいねと思ってもらえる。そして、試合を見に来てもらえるようになると、選手にとっても大きな励みになります。さらに、高校で県外に出ていった子どもたちが、地元でJリーグがあれば帰ってこられる。そんなきっかけに、高知ユナイテッドがなっていけるように、これからも頑張っていきたいと思います。

皆さんにも、ぜひ一度クラブの練習や試合を見に来ていただきたいと思います。そして、選手やスタッフがどんなことを思いながらプロリーグを目指そうとしているのか、クラブの取り組みを見て、賛同してスポンサーにもなっていたければと思います。



◇ 出席率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
2月 8日	(-13)90	63	13	4	83%
1月25日	(-10)90	60	9	11	88%



◇ 例 会 変 更 ◇

高知南RC 2月17日 古希・還暦等夜間例会(阪) 高知北RC 2月21日 ロータリー休日(三)
 高知RC 2月22日 ロータリー休日(三) 高知西RC 2月25日 古希・還暦祝賀夜間例会(三)

※例会場ホテル：(三)…三翠園(城)…城西館(阪)…ザクラウンパレス新阪急高知(旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル



ニコニコ箱

【敬称略】

- 坂元 陽祐 ご縁ありまして弊社も協賛させていただいておりますが、2022年はもっと会場に足を運んで応援させていただきたいと思っております。
- 正延 知行 ご案内のとおり、牧野博士をモデルにした朝ドラが決定いたしました。これは署名活動や陳情を粘り強く行ってきた方々の努力の賜物だと思っています。当日は、多くの方々に喜びの声を届けていただき、ありがとうございました。このドラマが広く多くの方々に受け入れられ、高知県の活性化に貢献ができますよう、心より祈っています。
- 杉本 芙美子 藤田徹也会員、先週の卓話、懐かしい番組や美しい映像を見せていただきありがとうございました。淡々とスピーチをなさいましたが、素晴らしいお仕事をされていた様子がよく分かりました。さすが、洋子さんのご自慢の従兄弟さんですね。夫、延一の誕生日をお祝いいただきありがとうございました。10日はお花の手配もしていただくとお思います。重ねてのニコニコです。
- 竜口 淳也 先日は誕生日を祝っていただきありがとうございました。

● 累計額 [2月8日現在]

ニコニコ箱	575,000円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	100,368円	ポリオ募金	223,300円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [2月22日]

ロータリー休日

創 立 昭和12年10月
 例 会 日 火曜日 12:30~13:30
 例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
 事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階
 TEL(824)8660 FAX(824)2529
 E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
 HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>